

日本自殺総合対策学会 2024年度事業計画

椿 広計

方針：自殺総合対策に関わる現状の悩み事、必要な連携、支援研究などを忌憚なく議論できる場を創出する。自治体関係者等が参加しやすい仕組みを構築し、会員ないしは学会が提供する場に集い自殺やそれに関係する社会問題に立ち向かおうとする同志を拡大する。このため会費改訂、資料提供に関する体系的制度立ち上げを機に、会員勧誘を開始する。特に研究者会員（JSCP 委託研究を行っている研究者等）に対しては入会の勧告を行う。

このため次のような活動を展開する。

- 1) 春の政策研究会（5月～6月）：現状の把握
- 2) 秋（9月～10月）の講演会：行政・NPO等の活動実践報告
- 3) 年度末（2月から3月）：テーマを定め政策の在り方を議論する大会と総会での次年度計画
- 4) 不定期：自殺総合対策ワークショップ：5名程度の会員の提案による情報共有の場あるいはケース・教材・研究成果を共同で勉強する場を随時提供
- 5) これらの活動の中で研究活動や実践活動として参考になるものに対して、理事会は学会として感謝状を捧げる。
- 6) これらの活動を学会ホームページで概要紹介する共に、許諾を得た講演録画やその資料を自治体関係者など学会会費公費支出が困難な者に対して資料として有料提供し、実質的に学会活動に参加できるようにする。
- 7) 学会誌発行の原資は現行の会員数ではないので、学会の上記行事等で重要と考えられる講演内容などは、JSCPが発行する論文誌などへの投稿を勧告する。
- 8) 以上の活動を企画することを目途に、理事会は定款にしたがって2回程度開催する。このほか、入退会への対応のため電子メールによる持ち回りの理事会を、月1回程度実施する。